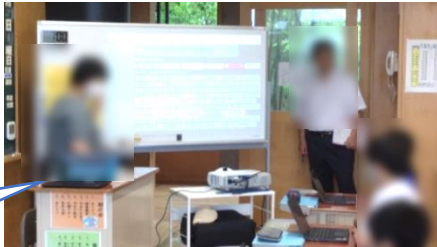
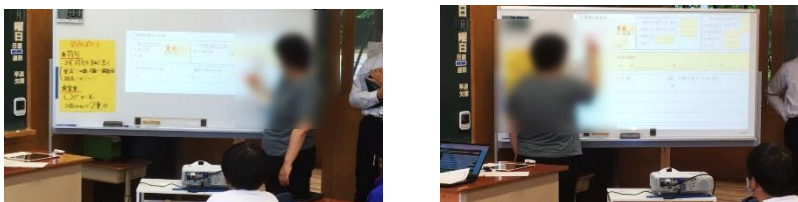


- (1) ねらい 正の数、負の数の加減乗除や累乗、かっこが混じった式の計算順序を正しく判断し、その計算をすることができる。
- (2) 評価規準 計算順序を正しく判断して、四則や累乗、かっこが混じった式の計算ができる。(知識・技能)
- (3) 学習展開 (20/25)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	<p>1 ウォーミングアップ(8分)</p> <p>学習WEBサイトを使い「正負の数の」「()の取り方」、「()をとって計算」、「()の「い乗」の確認を行う。</p>  <p>WEB上にある学習サイトを活用</p>	<p>・本時でつまづきが予想される「かっこのはずし方」「累乗の計算」をウォーミングアップで復習する。</p> <p>【ICT活用の工夫】</p> <p>・同じ画面をスクリーンに映し、実施する項目に印をつけ、取り組む内容を共通理解する。</p>
展開	<p>2 問題を提示し課題を設定する。</p> <p>① $12 - (-6)^2 \div (-9)$ ② $(-9) \div 3 + (-6 - 5^2)$</p> <p>・+, -, ×, ÷が混じっている ・累乗がある</p> <p>・かっこの中に式がある</p> <p>→小学校の時はどうだったかな?</p> <p>正負の数の四則の混じった式を、正しい順序で計算できるようにしよう。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <p>・学習WEBサイトを活用し、自分の理解度、進度に応じて取り組む。</p> <p><学習WEBサイトのよさ></p> <p>・類似問題が無数に出題され、計算の定着を図るために繰り返し解くことができる。</p>
終末	<p>3 課題を解決する。(協働追究→個人追究)</p> <p>① 四則の混じった式 → 乗法・除法を先に計算する。</p> <p>② かっこのある式 → かっこの中を先に計算する。</p> <p>③ 累乗のある式 → 累乗を先に計算する。</p> <p>※①の後、練習1 ②の後、練習2 ③の後、練習3の順序で取り組む。</p> 	<p>【ICT活用の工夫】</p> <p>・同じ画面をスクリーンに映し、小学校で学んだ四則混合の式の計算を全員で確認する。</p> <p>【ICT活用の工夫】</p> <p>・同じ画面をスクリーンに映し、①②③の問題の計算順序について、下線を引き、根拠を明らかにしながら全員で確認する。</p> <p>・「なぜそこから計算をしたの。」と繰り返し問うことで、計算順序の約束を確認する。</p>
	<p>4 課題に対してまとめをする。</p> <p><四則の混じった式の計算の順番></p> <p>1 累乗 2 かっこの中(乗除→加減) 3 乗法・除法 4 加法・減法</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <p>・学習WEBサイトを活用し、自分の理解度、進度に応じて取り組む。</p>
	<p>5 学びの実感・定着を図る。</p> <p>・全員、学習WEBサイトで計算順序を明らかにしながら、問題に取り組む。</p>	<p>※個別最適な学びを図るために、理解できていない生徒に対し、必要に応じて支援を行う。</p>

【検証：期待される学習効果】

- ・大型スクリーンに生徒と同じ画面を映し出し、必要な場所を印で示すことで、生徒は、たくさんの情報の中から必要な情報を読み取り、特性による困難が軽減され、学習に臨むことができる。
 - ・大型スクリーンに問題を映し出し、計算順序の根拠を問いながら下線で表し、確認することで、生徒は、個人追究の場面でも同じように進めたらよいと、安心しながら学習を進めることができる。
 - ・生徒は、各々の理解度に応じて、自分のペースで問題に取り組むことができる。また、正解しなければ、先に進めることができない学習WEBサイトだからこそ、不正解の時は、どこで計算順序を間違えたのかを考え直すことができる。
- ※各々のペースで取り組むからこそ、定着の弱い生徒に比重を置いて支援していくことが可能となる。